

きたごうひがし

「一斉大掃除」ご苦労様です。

「いつも爽やか清潔な街を」が環境部のスローガンです。過去5年間、春秋の大掃除は雨に遭ったことは一度もありませんので、絶対晴れると確信しておりました。雨が上がり、お庭の木々が華やかに色づきました。区長さんを先頭に、公園や歩道のゴミや落葉のかたづけが進みました(写真左上20区もみじ公園)。環境部一同は2台の車に乗って(写真左下)取組み状況を確認させて頂きました。本当にお疲れ様でした。



除排雪事業の準備&実行委をスタート
予定作業期間は2月12日〜17日

前年度は、暖冬少雪のため中止となった除排雪事業ですが、区長会議の意見(時期を遅らせる)も踏まえて、実行委員会と業者説明会を例年より早めにスタートさせています。白石区土木部を通じて、他の町内会との調整をすることになります。令和3年2月12日(金曜)〜17日(水曜)が有力となっています。

2020年 10月30日 第157号
 ネット検索キーワードは北郷東町内会
 発行責任者 鼻野木辰則
 編集責任者 佐藤静男

ドキュメント:ゴミステーションは新型ダクトBOXへ加速

研究はカラスから
 町内会環境部はゴミステーション(以下GS)をカラスの被害から守る対策を6年前から研究してまいりました。

悩む大脇
 試作品を、大脇部長が中心に検討した結果「折りたたみ開放型ダクトボックス(TKO-750J)(幅1260高さ900奥行750/120)を標準普及型として決定した

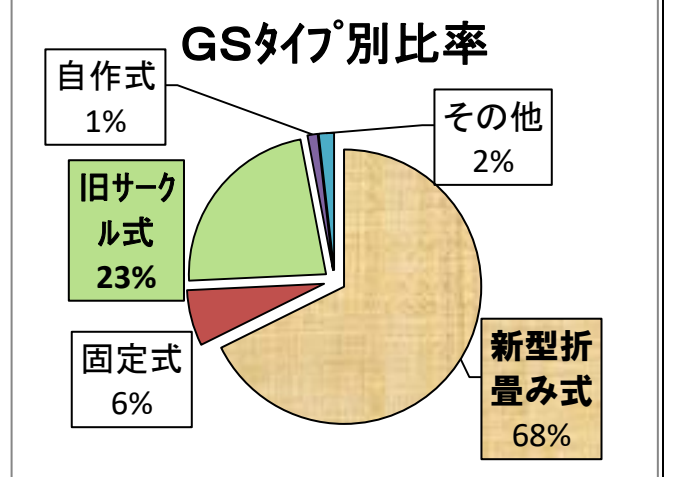
25区の協力で実験開始
 最も会員数が多い25区には、区総会で先行して導入することを決定してもらい、「カラスが居なくなった」との高い評価を受けることが出来ました。また要望に応じて「大型1.7倍



コストダウンに汗をかく
 現在、標準タイプで38,100円、大型タイプで53,500円がメーカー納入価格です。そこで完成品納入ではなくパーツによる納入を行い、大脇さんを中心に環境部で組み立ててコストダウンを図りました。札幌市からの助成金12,000円/1台当りがありますので、標準型の導入コストは1台当たり26,100円、大型オプションタイプは環境部と市の助成分を引いて32,260円です。しかし、区の負担は小さい金額ではありません。大脇部長の熱く・粘り強い説明・説得が続きました。



オプションタイプ」も導入しました。旧型の「パネルサークル+ネット」タイプより、美観も耐久性もカラス対策上も優れている事は明らかでしたが、問題は導入コストでした。



コロナが普及に追い風?
 そして、今年の10月にはGS167カ所中113カ所まで切り替わることが出来ました。(グラフ参照)未導入であった20区役員会も検討を開始することになりました。コロナ禍でイベント関係の予算が執行停止状態の区が多いかと思いますが、この期に導入を加速する動きが出てきています。(C)

防災PJほぼ毎週開催。停電対策・避難所マニュアルなど鋭意研究・検討中
 町内会の防災計画を具体的に検討するプロジェクトは6回目の会合を重ねています。自主防災本部の活動部ごとに、平時や訓練の活動課題イメージを具体化しようとしています。急ぎの課題として停電時の電源対策として発電機の導入を検討中です。コロナなどの感染症対策を盛り込んだ避難所マニュアル作成に向けては、他の町内会の活動も参考にしようとして、11月15日には、隣の親栄町内会の避難所開設訓練を見学することになりました。

北郷東会館は毎月一回休館日を設定します。
11月1日(日)は休館日となります。
 理由: 会館管理人の勤務条件改善のため。なお、葬儀等の緊急利用は優先対応し、休館日を変更することがあります。

北郷東会館はどなたでもご利用いただけます!
 ◎家族葬・法要に最適
 ◎詳しくはホームページ『北郷東会館』を検索
 北郷東会館・管理人
 ☎ 873-3491

女性部主催の
教養講座は中止

**三マを緩手洗い！
 密をク回！
 換気の励行を！**

札幌市内の感染者数が、過去最大を更新しました(別表参照)。札幌市のHP10/29付より)。旧型コロナウイルスは冬場のカゼでした。新型も旧型と同様に気温低下とともに流行することが危惧されており、インフルエンザとの同時流行も心配されています。今のところ若い方が中心ですが、家庭内感染が広がるとリスクの高い高齢者や基礎疾患をもつ人、病院へ広がりやす。欧米のように最悪は重傷者が激増し医療崩壊を起こすことになりかねません。

札幌市内の新型コロナ感染が急上昇中

